

## ハヤブサ（ハヤブサ科） 全長オス38。メス51センチ

今年もハヤブサの雛が元気に育っている。

大仙市内には2カ所の繁殖地があるが、1カ所はこれまでの観察から雛の誕生は無いようだ。もう1カ所の方は子育てが順調に進み、今はもう羽ばたきの練習真っ最中です。

昨年に続き3羽の雛が確認されているが、巣立ちまであと1月ぐらいでしょうか。親は近くの崖や枝先から、巣の雛を見守っている。カラスなどの外敵が近づかないか常に周囲を伺っている。ハヤブサにとっては観察している私も邪魔者になることでしょう。



親に餌をねだる、元気な雛。

不用意な行動や、近づき過ぎないように細心の注意を払い撮影に取り掛かっている。

撮影を始め30分以上も経ただろうか、突然親鳥が警戒の声をたてながら上空を旋回し始めたではないか。

すると急峻な崖の中腹に、なんとカモシカの親子が現れました。ハヤブサの雛のいる崖から50メートルほどの距離しかありませんが、影響はないようだ。親子は20分ほどで山の中に戻って行った。白い綿毛に覆われた3羽の雛を眺められるのは、あと10日位だろうか。まもなく茶褐色の羽が現れると、呼び名も雛から幼鳥になります。



雨などで寒くなると親のお腹の下に。



綿毛が抜け始め、黒っぽい羽根が見えてきた。

撮影する車の近くでコチドリが抱卵中でした。

ここならハヤブサが見張っているので天敵のカラスが近づくこともないでしょう。いい場所を見つけたものです。

ハヤブサとコチドリ。どちらも元気に巣立ってもらいたい。



特別天然記念物のカモシカが現れた。



コチドリが4個の卵を温めていた。